

## 疫 学 研 究 班

班長 曾 田 研 二

本年度の研究計画は、基本的には前年度の継続であるが、さらに感染モデルの検討が新たに加わった。即ち、①全国のATL患者数の把握、②HTLV-1キャリアの実態と年次推移の検討、③HTLV-1感染とATL発症の危険因子の検討、④感染予防のための手段、とくに母乳停止の評価、⑤感染モデルの検討およびそれに基づく患者、感染者の将来推計。以上のうち、本年度中にまとまった成績の出していないものもあるが、総括すると次の通りである。

### 1. ATL患者発生数の把握

田島らは、1980～88年にわたり4回行われたATL全国実態調査(厚生省がん助成研究班)をもとに、わが国のATLの疫学的特性を検討し、患者数を推定した。1986～87年の2年間でATLの新患者は657例が登録され、これは発生実数の約半数と推定される。さらに出身地、性、年齢別による解析を行い、わが国におけるATLの疫学的特性が一層明らかにされた。

### 2. HTLV-1キャリアの全国的な分布

船本らは日赤の献血者のスクリーニング検査の成績より、前年度は全国主要都市の地域血液センターにおける抗体スクリーニング成績を検討した。これにより更に詳細な地域分布が明らかにされるとともに、陽性率の高い地域ほど陽性群でのPA法高力価の占める割合が上昇することが判明した。

### 3. 各地域におけるHTLV-1の妊婦・母子感染の実態

長崎県T島、岩手県、横浜市、愛媛県南予地域、鹿児島県、沖縄県等の各地域において妊婦のHTLV-1抗体保有状況を調べ、陽性妊婦の出生時のHTLV-1感染の追跡調査を行った。妊婦の抗体陽性率はT島や鹿児島県において極めて高く(5～8%)、他地域においても県内地域差や出身地

による著しい差が認められ、従来の成績を更に補強する成績が得られた。キャリアー母からの出生児の HTLV-1 感染率についても更に地域的な成績が追加蓄積され、長期追跡を行った調査では T 島 11%、沖縄 15%、鹿児島（母乳）19%などの成績が得られた。妊婦及び母子感染については従来から幾つかの成績が報告されているが、条件の異なる場合が多いので、その集団の特性、授乳の条件、検査法、追跡期間等を同一基準で考慮した上で比較検討することが緊要と考えられる。

#### 4. HTLV-1 抗体陽性率と年齢との関係

ATL 多発地域では HTLV-1 抗体陽性率は概して年齢とともに上昇することが認められているが、植田は沖縄における 20 年にわたる経時的コホート研究から、抗体陽性率は採血時の年齢よりも出生コホートに影響されることを明らかにした。

#### 5. 抗体検査法に関する検討

宮村らは予研血清銀行保存血清を用いて、現行 PA 法と改良 PA 法（富士レジオ）を比較検討した。改良 PA 法は現行 PA 法よりも特異性に優れ、現行 PA 法による偽陽性率を低減させ、今後の HTLV-1 スクリーニングに有用であるものと期待される。

また母里らは、疫学調査の検査法の確立をめざし、PA 法と ELISA 法の関係を検討し、抗体陽性率は検査法の組合せにより大きな幅があり、今後検査法の一層の改善の必要性を指摘した。

#### 6. HTLV-1 感染の将来予測に関する理論疫学的研究

橋本らは HTLV-1 感染の数学モデルを仮定し、母乳哺育の変化（実施率、期間、混合哺育など）が HTLV-1 キャリアの年齢分布に及ぼす影響を検討した。母子感染率が 0.5 未満の場合では、夫から妻への感染率が 1 であっても、集団の感染率は減衰し、将来的には 0 になることが導出された。

第 2 日の全体討議においては、主として HTLV-1 感染の年令的推移とその影響要因、キャリアー化の個体差要因、母子感染の頻度、HTLV-1 感染の将来予測などについて討議された。また、HTLV-1 抗体スクリーニングの経費-効果の推定が提示され、ATL 1 例当りの予防経費は九州地域と他地域で約 5 倍の差のあることが示されたが、今後の広域的予防対策の在り方に考慮すべき点が示唆された。



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



本年度の研究計画は、基本的には前年度の継続であるが、さらに感染モデルの検討が新たに加わった。即ち、全国の ATL 患者数の把握、 HTLV-1 キャリアの実態と年次推移の検討、 HTLV-1 感染と ATL 発症の危険因子の検討、 感染予防のための手段、とくに母乳停止の評価、 感染モデルの検討およびそれに基づく患者、感染者の将来推計。以上のうち、本年度中にまとまった成績の出ていないものもあるが、総括すると次の通りである。